

重点施策15 図書館蔵書及び機能の充実

【施策方針】

地域文化の創造・発展に寄与するとともに、誰でも気楽に利用できる図書館を目指し、機能と経営の充実を図り、市民の読書意欲に応え、教養が深まるよう努力している。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 蔵書内容の充実
- ② 読書活動の推進
- ③ インターネットによる蔵書検索、予約、及びレファレンスサービスの充実

(2) 主な施策・事業の実施状況

① 蔵書内容の充実

図書館は何といても蔵書の充実が最優先課題である。この蔵書の充実については、まず予算の確保が基礎となるため、予算編成時、蔵書購入費用がこの財政難のおり、財政的削減の対象とならないように財政担当部門の理解を得るようにしている。

蔵書の選択については、図書館流通センターから出される新刊リスト、ベストセラー、市民からのリクエスト、により決定している。

② 読書活動の推進

国の制定した「子どもの読書活動の推進計画に関する法律」に基づき、八幡浜市子ども読書活動推進計画の策定を図書館協議会委員とともに協議し作成した。

また、おはなしボランティア養成講座を開催し、読み聞かせボランティアグループの育成及び向上に努めている。

③ インターネットによる蔵書検索、予約、及びレファレンスサービスの充実

機能の充実については、平成19年度に八幡浜市民図書館、保内図書館のコンピューターシステムを統一した。これにより利用者カードを統一し図書の貸し出し、返却を便利な形で行なえるようにした。また、インターネットによる蔵書検索と予約を可能とし、それによってレファレンスサービスの充実、リクエスト本の充実などを図っている。

【学識経験者意見】

- 利用者を増やすためには、蔵書を増やす必要があります。財政的な問題もあると思いますが、市民が購入できない高額な専門書など、利用者のリクエストなども参考にして、公立図書館としてふさわしい選書を行い蔵書の充実をお願いしたい。
- 子供の時から読書に親しむためには、読書活動の推進が重要となります。おはなしボランティア養成講座を開催し、読み聞かせボランティアグループの育成及び向上に努めているとのことですが、ボランティア団体や学校関係者との連携をよりいっそう図っていただきたい。
- 平成 19 年度に統一された市民図書館と保内図書館の図書コンピュータシステムにより、貸出、返却、検索、予約など利便性が向上しています。さらに利用しやすいようシステムの改善について、他市の図書館なども参考に、常に調査・研究していただきたいと思います。

【自己評価】

- 市民図書館の蔵書スペースは限界に近づいておりましたが、書庫の拡張が認められ、3万冊程度の追加所蔵が可能となる見込みです。(合計で約20万冊)
来年度以降の図書購入予算額は、最低でも今年度並みは確保したいと考えておりますが、選書についてもより精査し、蔵書内容の充実に努めてまいります。
- 読書活動の推進にはボランティア団体との連携・協力は必須ですが、学校関係者との連携・協力も欠かせません。図書館、ボランティア団体、学校関係者間の複合的な連携・協力が行えるよう努めてまいります。
- 現在の当市の図書コンピュータシステムは陳腐化(特にハード)しつつあるので、県内他市の直近の更新システムを調査・研究し、より利用者の利便性が向上するような次期システムへの更新を検討いたします。